

さとう地区だより

5月

広島医療生協
佐東地区 No. 10

佐東地区（川内・梅林・八木・緑井）
川内（小倉） 梅林（風越）
八木（山下） 緑井（坂川）
健康まちづくりセンター
（栗秋 082-879-8124）



2025年度 緑井支部総会のお知らせ

日 時:5月21日(木)
10:00～支部総会
10:30～こけんよ体操
場 所:オレンジハウス

こけんよ
体操



参加者
募集

内容:転倒予防体操
(足指運動、筋力運動、バランス運動など)
講師:坂本 貴志(理学療法士)

※いきいきポイント対象

【お申し込みはこちら】

健康まちづくりセンター 栗秋(879-8124)

理学療法士
脳卒中認定理学療法士
回復期セラピスト
マネージャー

川内 どんぐり班 ハーモニカ演奏会

西川 勉さんのハーモニカ演奏会です♪
どなたでも参加できます♪

日 時:5月16日(金) 10:00～
場 所:倉本会館
内 容:ハーモニカ演奏会
参加費:100円

演奏会後に健康チェックを行います。

※いきいきポイント対象

川内 そよ風班

日 時:5月21日(水) 10:00～11:30
場 所:川内集会所1階
内 容:ゴキブリ団子づくり
会費(材料費):200円

※いきいきポイント対象

どなたでもぜひご参加ください♪

補聴器がいる年代になったか

右の聴力は働いている頃より少し悪かったが、60代後半になると日常生活でも少し気になりだした。

聞き取れないときは、少し聞き取れなくても話について行けたが、年を取ると「はあ?」「何て?」と遠慮なく声を発するようになってきた。相手も嫌だろうし、自分も情けない思いをする。家でのテレビ視聴は日本語の字幕を入れて対応している。やはり補聴器を使った方がよいのか、広島市では最近市議会に補聴器補助助成をとの取り組みが始まっている。補聴器助成自治体は22年114自治体、24年には375自治体と広がっている。(日本の自治体の数1,741)。

24年7月から日本耳鼻咽喉科学会がACジャパン支援の下、テレビなどの広告枠を通じて「難聴と認知症」の啓発キャンペーンを展開しています。また助成に反対してきた政党も賛成に転じています。また24年11月、日本耳鼻咽喉科学会が学会全体として本格的に動き始めました。今年7月参議院選挙を控え、市民要求が実現できるチャンスです。健康保険適用をも視野に、地域の団体・議員団とも連携し、粘り強く、補聴器助成の街づくり運動を私たちの地域で進めていきましょう。

(M支部長)

サッカー 世界の共通語 ⑨



⑨

広島市内某高校のサッカー部の顧問になることができたが、そこには素晴らしい監督さんがすでに存在していた。私はコーチ兼一員として生徒といっしょに練習を楽しんだ。何年目かのある日、市内中心部を歩いている時にベトナム難民村奉仕団募集と書かれたポスターを目にした。早速参加を申し込み、夏休み中の一ヶ月、ベトナムでのボランティア活動に従事した。

戦時中だったので砲弾や射撃の音に怯えた。梅林支部のましげる。こともあったが、一方で作業が終えた後の難民村の子ども達とのサッカーが楽しかった。ベトナム語は全く分からなかったが、いいプレーに「ベレ!」とか「ベッケンバウアー!」とか「クライフ!」と叫ぶ子ども達は大笑いした。滞在中には当然の如く現地の青年チームと我がボランティアチームの親善試合も行われ、沢山の観客が集まった。まさにサッカーはベトナムでも相通じる言葉だった。

